

2021年度 第108委員会活動報告書

第108委員会事務局 JBMIA

1. 第108委員会（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）

1-1. 活動概要（全体）	委員長	池田 誠
1-2. MT1 分科会活動概要	主査	小原 章二
1-3. MT2 分科会活動概要	主査	柴田 恵
1-4. HBS 分科会活動概要	主査	近藤 孝彦
1-5. JIS C 62368-1 改正原案作成活動概要	主査	小原 章二
1-6. JIS C 62368-3 原案作成活動概要	主査	和田 卓也
1-7. JIS C 60990 原案作成活動概要	主査	和田 卓也
1-8. その他 Ad Hoc 委員会活動	主査	近藤 孝彦

1. 第 108 委員会（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）

委員長 池田 誠

1-1. 活動概要（全体）

2021 年度の活動として、国際規格原案等については、（1）に示すとおり、3 件の文書について審議した。国内規格については、（2）に示すとおり、2 件が新規制定された。また、1 件の追補の JIS 原案を JSA に提出を行った。MT1 分科会、MT2 分科会、HBS 分科会、及び JIS 原案作成検討グループの活動の詳細は、各分科会活動概要の項を参照。

（1）国際規格対応について

2021 年度は、4, 5, 10, 11, 1 月に WEB にて、IEC/TC108 HBSDT 会議が開催され、日本代表のエキスパート、発表者及びオブザーバが参加した。

TC108 から発行される審議文書については、下記 3 件の投票等を行った。

- ・ NP (New Work Item Proposal) : 0 件
- ・ CD (Committee draft for comment) : 1 件
- ・ DC (Document for Comments) : 1 件
- ・ CDV (Committee Draft for Vote) : 0 件
- ・ FDIS (Final Draft International Standard) : 0 件
- ・ DTR (Draft Technical Report) : 0 件
- ・ Q (Questionnaire) : 1 件

（2）国内規格対応について

1) IEC 整合 JIS 原案の審議

次表に示す JIS を JSA に提出し、その後の対応を行った。詳細は JIS の原案作成活動の項目参照。

規格番号及び標題	2022 年 3 月末時点の進捗
JIS C 62368-1 : オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器第 1 部 : 安全性要求事項 (IEC 62368-1, Ed.3: 2018 対応)	2021 年 5 月に JIS が制定された。
JIS C 62368-3 : オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器第 3 部 : 通信ケーブル及び通信ポートを介する直流電力伝送の安全性要求事項 (IEC 62368-3, Ed.1: 2017 対応)	2021 年 5 月に JIS が制定された。
JIS C 62368-1 : オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器第 1 部 : 安全性要求事項 (IEC 62368-1, Ed.3: 2018 対応の追補)	2021 年 11 月に JIS 原案を JSA へ提出した。

2) 電気用品安全法技術基準に関する整合規格の審議

審議案件はなかった。

1-2. MT1 分科会活動概要

主査 小原 章二

IEC 60065『オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器－安全性要求』の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 1 (MT1) に対応する国内委員会であるが、IEC 60065, Ed.8: 2014 が、2014 年 6 月に発行され、MT1 の担当規格改定作業は全て終了した。

(1) 国際規格対応について

IEC 60065 対象機器も対象となるルーチン試験 に関する規格、IEC 62911 の改訂に関する Q 文書(108/759/Q)に対し、MT1 分科会も文書審議に参加した。

(2) 国内規格対応について

MT1 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

前述のとおり、MT1 で取り扱っている規格の改定予定はない。IEC 60065 に関連した Interpretation Panel への質問事項等は、HBSDT の国際会議の中で扱われるので、都度対応していく。2022 年秋に開催予定のプレナリー会議で、MT1 の解散が議題となる予定で、MT1 の解散が承認されれば、分科会も解散し、残っている課題は HBS 分科会の中で対応していく。

(4) 2022 年度国際会議予定

- 2022 年 5~6 月 HBSDT WEB 会議
- 2022 年 秋 HBSDT 会議 (サンフランシスコ)

1-3. MT2 分科会活動概要

主査 柴田 恵

IEC 60950『IT 機器の安全』パート 1 (一般要求) 及びパート 2 (個別要求) の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 2 (MT2) に対応する国内委員会である。IEC 60950-22, Ed.2: 2016 が、2016 年 1 月に発行され、MT2 の担当規格改定作業は基本的に全て終了したが、MT2 が作成した規格に関連した審議が必要となった場合、HBS 分科会と協力して、MT-2 分科会の意見を反映する活動をしている。

(1) 国際規格対応について

MT2 担当の IEC/TR 62102 規格を IEC 62368-1 で使用している用語へ書き換えるための文書(108/719/DC)については、2019 年に日本コメント 1 件を提出して以降進展はなかった。IEC 60950-1 対象機器も対象となるルーチン試験に関する規格、IEC 62911 の改訂に関する Q 文書(108/759/Q)に対し、MT2 分科会も文書審議に参加した。

(2) 国内規格対応について

MT2 分科会では、取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

MT2 担当の IEC TR 62102 規格を IEC62368-1 で使用している用語へ書き換えるための審議が継続されるため、HBS 分科会と協力して対応していく。IEC 60950 に関連した Interpretation Panel への質問事項等は、HBSDT の国際会議の中で扱われるので、都度対応していく。

2022 年秋に開催予定のプレナリー会議で、MT2 の解散が議題となる予定で、MT2 の解散が承認されれば、分科会も解散し、残っている課題は HBS 分科会の中で対応していく。

(4) 2022 年度国際会議予定

- ・ 2022 年 5~6 月 HBSDT WEB 会議
- ・ 2022 年 秋 HBSDT 会議 (サンフランシスコ)

1-4. HBS 分科会活動概要

主査 近藤 孝彦

IEC 62368 『オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器の安全』パート 1 及びそのシリーズ規格等の制定並びに改定プロジェクト等を扱う IEC/TC108/HBSDT (ハザードベース規格作成チーム) に対応する国内委員会として、次の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

HBS 分科会は、IEC 62368-1 第 4 版の発行に向け TC108 が発行したドラフト文書及び委員から改定提案があった事項に対する審議を行うため、2021 年 9 月に WEB で開催した。

TC108/HBSDT 国際会議は、COVID-19 の影響により 2021 年度はすべてが WEB による開催となった。時差の関係もあり、長時間の会議の開催が難しいことから審議時間が足りず、4 月に開催された会議の追加として 5 月に、10 月に開催された会議の追加会議として 11 月と 1 月に会議が行われ、計 5 回の開催となった。これらのすべての会議にエキスパート及びオブザーバが参加して、日本意見を反映させた。

IEC 62368-3 の後続となる規格を審議する PT 63315 へは、2020 年 9 月に第 1 回国際会議が WEB 開催されて以降、2022 年 3 月までに計 13 回 (2021 年度中は 9 回) の WEB 会議に 2 名のエキスパートが参加し、日本意見の反映に努めた。

TC108 が発行した文書に対する日本意見の概要は、下表の通りである。

文書 番号	表題及び概要	日本意見概要
108/755/CD	IEC 62368-1 Ed.4: Audio/video, information and communication technology equipment - Part 1: Safety requirements IEC 62368-1, オーディオ・ビデオ, 情報及び通信技術機器- 第1部: 安全性要求事項 第4版の委員会ドラフト	技術的なコメントを17件、編集上のコメント9件、及びその他のコメントを2件、提出した
108/757/DC	TC 108/WG HBSDT proposed draft IEC 62368-2, Ed. 4 IEC/TR 62368-2 Ed.4, IEC 62368-1 E.4に関連する情報説明文書のドラフト	技術的なコメントを2件、編集上のコメント1件、提出した
108/759/Q	Questionnaire on the revision of IEC 62911:2016 IEC 62911 (製造時における電気安全ルーチン試験) の改正を行うことについて賛否を問う文書	改正に賛成とした

(2) 国内規格対応について

HBS 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

IEC 62368-1 Ed.4 には取り入れることができなかった懸案事項については引き続き審議されておりまた、IEC62368-3 を新たな規格に置き換える PT での審議も引き続き進められていることから、それらに対応すべく、HBS 分科会において日本意見をまとめ、国際会議にて提案する。また、他国からの意見に対しても意見具申を行なう。

IEC/TC108 が所管する、IEC 62368 シリーズに関連した規格の作成・改定に関しては関連団体等とも連携を図り進める。

(4) 2022 年度国際会議予定

- ・2022 年 5~6 月 HBSDT WEB 会議
- ・2022 年 秋 HBSDT 会議 (サンフランシスコ)

1-5. JIS C 62368-1 改正原案作成活動概要

主査 小原 章二

(1) 概要

IEC 62368-1 3 版対応の JIS C 62368-1:2021 が 2021 年 5 月に発行された。2020 年 3 月に電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用を要望するために解釈検討第 2 部会に報告を行った。その後 2021 年 4 月に IEC 62368-3 を引用規格とする解釈が変更となり、要望を取りやめた。この部分を修正するための追補版を発行するための、JIS 原案作成委員会を 2021 年 7 月に立ち上げ、11 月 5 日に JSA に原案の提出を行った。2022 年 2 月の解釈検討第 2 部会において、追補版発行後に、JIS C 62368-1:2021 と追補版を合

わせて電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用を要望する説明を行った。

(2) 今後の主要課題

追補版発行後、JIS C 62368-1:2021 とともに電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用を要望する。

1-6. JIS C 62368-3 原案作成活動概要

主査 和田 卓也

(1) 概要

IEC 62368-3 Ed.1.0: 2017 対応の JIS C 62368-3 「オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器—第3部：通信ケーブル及び通信ポートを介する直流電力伝送の安全性要求事項」が、2021年5月20日に制定された。

当初、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用を要望する予定であったが、IEC/TC108 より対応国際規格である IEC 62368-3 の適用は任意であるとの見解が INF 文書にて示されたことから、国際整合を重視し、要望を取り下げた。

(2) 今後の主要課題

特に無し。

1-7. JIS C 60990 原案作成活動概要

主査 和田 卓也

(1) 概要

IEC 60990 Ed.3.0:2016 「タッチカレント及び保護導体電流の測定法」対応の JIS 原案作成のため、JIS 原案作成検討会を発足させ、2021年11月より JIS 素案の作成を開始した。2021年8月に JIS 公募区分 D で応募申請を行い、2022年1月には、JIS 原案作成委員会を発足させた。

COVID-19 の影響から隔週(2時間)月2回 WEB 会議で開催し、2021年度は2022年1月までに検討会にて18回、2022年2月度からは JIS 原案作成委員会傘下の分科会にて4回、計22回の審議を行った。2022年8月末までに JIS 原案を作成し、JSA へ提出する予定。

(2) 今後の主要課題

COVID-19 の影響から検討会発足からこれまで、対面式での審議が実施できていない。オンライン会議にて隔週2時間で審議を進めており、これまで計画通り審議を進めているが、必要に応じて、会議時間の延長又は開催頻度を上げる等で作業ペースを加速させていく。

1-8. タスクフォース及びアドホック活動

主査 近藤 孝彦

附属書 M-TF は、電池に関連する事項について審議する TF である。2021 年 8 月、及び 2022 年 3 月に WEB 会議を開催し、日本の意見をまとめた。

光放射-TF は、光放射に関連する部分について審議する TF である。2021 年 7 月に WEB 会議を開催し日本の意見をまとめた。

以上